

5. 6 土木と学校教育会議検討小委員会

(1) 活動経緯と活動目標

「土木と学校教育会議」検討小委員会は、新しい教育基本法の考え方を十分に踏まえつつ、初等中等教育における児童・生徒のシティズンシップ教育に資することを企図し、道や川、まちといった様々な社会基盤・公共財を題材とした初等中等教育のあり方を考え、そしてそれを具体的に実践していくことを目的とするものである。そして、その目的の下、「全国の土木と学校教育の双方の専門家と実践者が集まり、種々の研究発表、事例紹介を行い、討議する場としての”土木と学校教育会議（通称として、土木と学校教育フォーラムを使用）”の設置・運営」を主たる活動とする一方で、土木を題材とした各種教育のあり方の検討とその実践を進めることを目途とした以下のような諸活動もあわせて推進していくものである。

1. 初等中等教育における学習指導要領に沿った、道や川やまち等の社会基盤をテーマとした教育プログラムの開発、実践（例えば交通、環境、災害、バリアフリー、公共、理科など）
2. 関係省庁と連携した副読本の開発
3. 指定校による継続的な教育プログラムの開発と実践、評価
4. 海外の教科書研究
5. 土木と学校教育フォーラムによる成果を通じた書籍出版と情報発信 等

当小委員会は、これらの目的と活動方針をもって、平成 19 年度末から活動してきた。以下より平成 25 年度と平成 26 年度の活動内容を以下に示す。

(2) 活動成果

1) 土木と学校教育フォーラムの開催と成果報告書の発行

平成 24 年度に作成した実施計画に基づき、第 5 回ならびに第 6 回土木と学校教育フォーラムを開催した。その概要は表 5.9.1 ならびに表 5.9.2 のとおりである。なお、第 5 回は「防災教育のいまとこれから ―巨大地震に備えて―」、第 6 回は「防災まちづくり・くにつくり学習」のテーマに基づき、実施した。

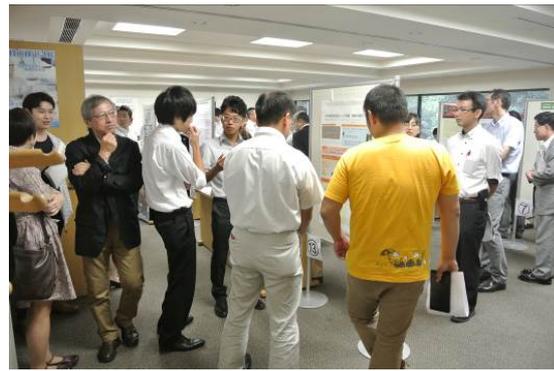
表5.9.1 「第5回土木と学校教育フォーラム」の概要

●実施日時	【第5回】2013年7月28日(日) 9:00~17:00 【第6回】2014年7月28日(日) 9:00~17:00
●主催	公益社団法人土木学会 教育企画・人材育成委員会 「土木と学校教育会議」検討小委員会 (委員長：京都大学大学院 藤井聡)
●共催	交通エコロジー・モビリティ財団
●後援	文部科学省、国土交通省、日本社会科教育学会、新宿区教育委員会、東京都教育委員会
●協賛	(一財)計量計画研究所、(一財)建設業振興基金、(財)国土技術研究センター、(一財)全国建設研修センター、(社)日本建設業連合会、(一社)北海道開発技術センター
●会場	土木学会(講堂、A,B,C,D会議室)
●参加費	無料(第5回:資料代500円、第6回資料代1,000円)
●主な内容【第5回】:	○講演 ・南海トラフ巨大地震について、児童・生徒が知っておかなければならない知識(河田恵昭:関西大学) ・東日本大震災以降の学校防災の取り組み(佐藤弘樹:文部科学省) ○模擬授業ワークショップ

- ・いつか必ず来る大地震から命を守るために -自ら判断し、行動できる次世代を育む- (大木聖子：慶應義塾大学)
 - 実践・研究報告 (口頭発表:3編)
 - ・緊急地震速報を利用した避難訓練 (矢崎良明：板橋区教育委員会学校防災・安全教育専門員/前板橋区立高島第一小学校長)
 - ・地域とともに取り組む防災教育 (渡辺吉廣：葛飾区立綾瀬中学校副校長)
 - ・防災教育に関する国土交通省の取り組み (塚原浩一：国土交通省 水管理・国土保全局防災課長)
 - 実践・研究報告 (ポスター発表/土木を題材にした教材の紹介展示：16編)
 - パネルディスカッション「防災教育のいまとこれから -巨大地震に備えて-
- 参加者数：91名

表 5.9.2 「第6回土木と学校教育フォーラム」の概要

- 実施日時：2014年7月28日(日) 9:00~17:00
- 主催：公益社団法人土木学会 教育企画・人材育成委員会
「土木と学校教育会議」検討小委員会
(委員長：京都大学大学院 藤井聡)
- 共催：交通エコロジー・モビリティ財団
- 後援：文部科学省、国土交通省、日本社会科教育学会、新宿区教育委員会、東京都教育委員会
- 協賛：(一財)計量計画研究所、(一財)建設業振興基金、(財)国土技術研究センター、(一財)全国建設研修センター、(社)日本建設業連合会、(一社)北海道開発技術センター
- 会場：土木学会 (講堂、A,B,C,D 会議室)
- 参加費：無料 (第5回：資料代500円、第6回資料代1,000円)
- 主な内容：
 - 講演
 - ・児童による地域点検+手づくり防災地図の効果 (寺本潔：玉川大学)
 - ・地域貢献型防災教育を目指して (宮田龍：高知県高知市立城西中学校長)
 - ・防災まちづくり・くにづくり学習」について ~実社会での防災・強靱化の「いま」と、その学校教育~ (藤井聡：京都大学文部科学省)
 - 模擬授業ワークショップ
 - ・防災まちづくり・くにづくり学習」について ~実社会での防災・強靱化の「いま」と、その学校教育~ (小村隆史：常葉大学)
 - 実践・研究報告 (口頭発表:3編)
 - ・夢を育むまちづくり学習の展開 (亀崎英治：宮城県仙台市立七郷小学校)
 - ・女川中学校の取組 ~生徒会防災委員会の活動を中心に~ (齋藤和宏：宮城県女川町立女川中学校)
 - ・東日本大震災で得られたこと (深松努：株式会社深松組)
 - 実践・研究報告 (ポスター発表/土木を題材にした教材の紹介展示：17編)
 - パネルディスカッション「これからの防災まちづくり・くにづくり学習」
- 参加者数：【第5回】91名、【第6回】92名



第6回講演3（藤井聡先生）の様子 実践研究報告（ポスター形式）の様子
 図 5.9.1 「土木と学校教育フォーラム」の様子

2) 土木と学校教育フォーラム WEB ページの作成・公開

土木学会教育企画人材育成委員会内の小委員会の WEB ページとは別に、土木と学校教育フォーラムの情報発信のための WEB ページを作成し、フォーラム開催情報や成果を中心に掲載し、情報を更新した。



図 5.9.2 「土木と学校教育フォーラム」の Web ページ
 (<http://trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp/cvilandeducation/index.html>)

3) 書籍「防災まちづくり・くにづくり学習（仮）」の出版（H27 中に発行を予定）

※監修 藤井聡（京都大学） 唐木清志（筑波大学） 編者 土木学会／教育企画・人材育成委員会／「土木と学校教育会議」検討小委員会

フォーラムの成果をとりまとめた書籍の出版にむけて、第5回・第6回フォーラムの発表内容、討議内容について、文字化をし、各執筆者の調整・出版準備作業を行った。

4) 国土強靱化に資する副読本の内容作成

内閣官房国土推進化室との連携により、国土強靱化に資する副読本の作成に向けた検討を行っており、平成26年度は副読本に掲載すべき内容の検討を行った。

5) 「土木と学校教育」メーリングリストの拡充

第6土木と学校教育フォーラムまでの参加者を中心にメーリングリストを拡充した。平成26年度末時点でのメーリングリストメンバー数は142名となった。

(3) 今後の活動

○第7回土木と学校教育フォーラム開催（平成27年度）

本委員会の主な活動として、引き続き、第7回フォーラムを平成27年8月31日に土木学会（講堂、A～D会議室）で実施する。

○平成25年度・26年度フォーラムのサブテーマである「防災教育」、「防災まちづくり・くづくり学習」の成果を取りまとめた書籍出版を平成27年度中に予定である。

○内閣官房国土推進化室との連携により、国土強靱化に資する副読本の内容作成を実施しており、指定校により、作成した副読本を用いた授業の転換を予定している。